

「在宅緩和ケアと総合病院緩和ケアチームとの
オピオイド使用量比較実態調査（多施設共同横断研究）」

1. 研究の対象

2018年11月～2020年10月に江別訪問診療所で在宅医療を受け看取りとなった方。

2018年11月～2020年10月に市立札幌病院で緩和ケア内科の診療を受け看取りとなった方。

2. 研究目的・方法

当研究では、在宅医療・在宅看取りでのオピオイド使用量を調べる実態調査を行い、総合病院緩和ケア内科によるオピオイド使用量との比較を行うことで、患者さんおよび患者家族さんが、在宅でも緩和ケア病棟と同様の鎮痛・緩和ケアを受けることができるという医学的根拠を提示し、今後のさらなる在宅緩和ケアの推進や緩和ケアを受ける患者・家族に在宅療養への選択に繋がることを期待しております。具体的に当研究では、在宅療養支援診療所での在宅看取り・在宅緩和ケア患者を対象としたオピオイド使用量の実態調査および、総合病院での緩和ケア内科による診療を受けている患者群との比較調査を過去の診療録(カルテ)より情報を抽出し解析する研究を予定しております。なお、本研究は琉球大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

3. 研究期間

倫理審査委員会承認日～令和5年3月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

医療情報：オピオイド使用状況（モルヒネなど）、病歴、悪性腫瘍の種類、治療歴、オピオイド投薬拒否の有無、疼痛コントロールの状況等

在宅診療・入院医療に関連した情報：主介護者（在宅のみ）、同居家族の有無とその人数、投薬内容（オピオイド以外も含む）・点滴の有無・訪問/往診の回数・在院日数等

なお、江別訪問診療所から診療を受けていた患者さんのオピオイド使用量・内服状況等を、江別訪問診療所と連携していた江別市内の訪問看護ステーションより情報提供・収集を行う場合があります。

また、本研究で収集したデータを新たな研究に二次利用する場合は、再度倫理審査委員会の審査に諮ります。

5. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

琉球大学大学院医学系研究科 臨床薬理学 岩田啓芳
市立札幌病院 緩和ケア内科 原田紘子
江別訪問診療所 院長 日下勝博

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究代表者：

琉球大学大学院医学系研究科 臨床薬理学講座 岩田啓芳
連絡先：沖縄県中頭郡西原町上原 207 電話 098-895-1195 内線 1195

各機関の責任者：

琉球大学大学院医学系研究科 臨床薬理学講座 岩田啓芳

市立札幌病院 緩和ケア内科 原田紘子
連絡先：北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目 1 電話 011-726-2211

江別訪問診療所 院長 日下勝博
連絡先：北海道江別市大麻東町 15-18 電話 011-386-2211

-----以上